

# 保育環境論

—幼児の生活の視点から—

幼児を取り巻く保育環境の具体的な事柄について、  
“幼児にとってそれは何であるか”の視点からとらえようとしたもの。  
粘土や折り紙などの教材から一クラスの人数、園舎の構造などまで  
幼児の目、心、身になって見直し、  
環境が幼児の経験内容の質を左右することを明らかにします。



原口純子 著

A5判 176頁 定価：本体1,600円+税

キンダーブックの  
フレール館